



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3 20 2-03 4 2

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

- 国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」
- アジア会長主題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
- 東日本区理事主題 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
- あずさ部部長主題 「変わるに挑戦！」
- 東京西クラブ会長主題 「楽しく、元気で、そして仲間を迎えよう！」

### 2023年6月号

NO 561

食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。それから、たらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた。

ヨハネによる福音書13章4・5節

### 「とまり木」の再構築

吉田明弘

(前号からの続き)

ある日、クラブ会計に YMCA 会員の篠原文恵さんからまとまった金額が振り込まれました。寄付かも知れないと確認したところ、「クラブ入会金と年会費」とのことでした。篠原さんは、杉並 YMCA のプログラムとして、長年定着していた婦人のフィットネスクラスが解散後、メンバーの中澤正子さん、藤江喜美子さん（後に東京たんぽぽクラブ）らが中心となりデンマーク体操の指導者堀内浩二さんを引っ張り出して、新たに始めた「ひだまり体操クラブ」のメンバーでした。週1回、10数人の会員で近所の施設で行なうので互いに親しく、ワイズのクリスマス例会などの行事にも参加していました。もちろん歓迎。早速大野さんと同時に入会式を行なうことにしました。すると、やはり「ひだまり」の会員の木原悦子さんが、「私

も入会するつもりだった。1人の入会式は嫌なので、一緒に入会したい」と言い出したのです。本川さんは、当時杉並 YMCA のバザーの献品を複数の会員宅に保管してもらっていたので、その移動に車を出したり、当日も売場を担当したり、例会や WHO ウォーキングにも参加していました。

2004年9月例会で晴れて3人の入会式が行なわれました。

2年後の2006年、河原崎和美さん、石井元子さんが入会しました、2人とも1997年11月に開始した WHO ウォーキングに立ち上げから参加していました。クラブ入会まで時間がかかりました。河原崎さんは、いつも夫君と例会にも参加、石井さんは、国際憲法と日本区定款全文を読了しての入会でした。その後も木原洗さん（他クラブメンバーの紹介）、坂田和信さん（メンバーの紹介）、鳥

越成代さん（メンバーの紹介）が入会しました。

今回、気づいたことは、

- ①これらの入会者は、いずれも杉並 YMCA が事務所とセンターの主事を失ってから入会です。
- ②多くの入会は、クラブ中心に考えれば、「ひだまり体操教室」「WHO ウォーキング」といった、いわば「止まり木」を要していません。

野鳥が、餌場を水浴び場を探す時、外敵がいなか、快適に過ごせるかを、近くの止まり木から、観察して納得して着地します。

現在、クラブの「止まり木」は何でしょう。いろいろ考えられますが、私は、現在リニューアル中の WHO ウォーキングのリーダー、スタッフの充実と、毎月確実に行なっている定例会を、より多くの人に開かれたものにするよう、メンバー1人1人が、磨き上げることだと思っています。

### クラブ役員

- 会長 高嶋美知子
- 副会長 吉田 明弘
- 書記 本川 悦子
- 会計 篠原 文恵
- 担当主事 横山 弥利

5月の記録				ニコニコ	9,140円
在籍者数	12人	メネット	0人	クラブファンド	0円
(内功労会員)	1人				
出席者数	9人	コメント	1人	ファンド残高	114,715円
メーカー	1人	ビジター	1人	ホテル校ファンド	32,000円
出席率	91%	ゲスト	0人	ホテル校残高	97,570円
内 Zoom 参加	0人	出席者合計	10人	WHO 参加者	37人

## 6月例会のご案内

## 強調テーマ：YMCAサポート、歴史、振り返り

高嶋会長年度の最終例会です。今年度を振り返り、次年度の活動を共有し合うクラブ総会を行います。

また、恒例の東京 YMCA ホテル専門学校の留学生への奨学金贈呈式を行います。

日時：6月15日（木）18：30～20：30

会場：ウェルファーム杉並 4F 集会室

杉並区天沼 3-19-16 03-5335-7330

会費：1,000円（夕食代として）

担当：C班（神谷、河原崎、本川、横山）

**HAPPY BIRTHDAY** 該当者なし

開会点鐘  
いざたて（静唱）

聖句朗読・祈祷

会長挨拶・ゲストご紹介

奨学金受領者紹介

奨学金受領者挨拶

奨学金贈呈式

会食

2022-2023年度クラブ総会

ハッピーバースデー

ワイズ報告

YMCA 報告

ニコニコ

閉会点鐘

受付 河原崎和美  
司会 神谷 幸男

会長・高嶋美知子  
一同  
神谷 幸男

小畑貴裕校長  
ヴァー ホアン ズンさん

高嶋 会長  
一同

議長・高嶋会長  
会長

会長、各担当

横山担当主事

一同

高嶋 会長

## —5月事務会報告—

日時：5月25日（木）17:00～19:00

会場：YMCA 山手センター3階

出席者：石井、篠原、本川、村野、  
吉田

<報告事項>

①第3回「残雪のアルプス評議会」が松本駅前会館でおこなわれた。（出席者 58人、議案承認 51人）

東京西クラブ出席者：篠原、本川、吉田

②評議会にて 2025-2026年度の部長輪番を辞退したいと議案書を提出したが、次年度へ継続審議となった。

③6月の例会にホテ校奨学金受領者 VU HOANG DUNG（う“ーほあん ずん”さん（ベトナム）が出席されます。

<協議事項>=例会関係=

①班を A,B2 班にしたためブリテン担当について協議した。

②お弁当の変更について協議した。

③6月以降の例会

6月：総会、臨時事務会

7月：役員交代式

卓話：中央大学常任理事  
大貫裕之さん

8月：納涼例会

9月以降は未定だが、候補として三井金属元取締役副社長 須永達夫さんボランティア落語家・六法亭無生さん

<その他>

・6月3・4日 第26回東日本区大会 甲府市

・あずさ部部大会 10月21日（土）ホスト長野クラブ

・2023-2024年度評議会  
第1回 7月15日（土）  
東京武蔵野多摩クラブ

第2回 2月10日（土）  
東京八王子クラブ

第3回 5月15日（土）  
東京サンライズクラブ

（書記・本川悦子）

## 東日本区大会開催

6月3・4日、第26回東日本区大会が甲府市で開催されました。甲府21クラブと周辺クラブの協力により、コロナを乗り越えて4年ぶりのリアル開催。山梨英和高校聖歌隊のハンドベルと乙女たちの清らかな歌声から始まり、パナーセレモニー、メモリアルアワーとプログラムはどれも印象的でした。当クラブからは、石井、神谷、河原崎、篠原、高嶋、本川、村野、吉田の8人が出席でした。

## DBCとのお付き合い

2月に開催された東西日本区交流会において、東京西、千葉ウェスト、京都ウェスト、大阪西、神戸西、熊本にし各クラブが「ヘキサゴン DBC」として DBC を締結したことは周知のとおりです。

この前身たる「ペンタゴン DBC」が12年前に発生した東日本大震災に際してその復興支援活動に大活躍したことも周知の通りです。一つのクラブでは財的・人的に実行できない事業でも複数のクラブが集結すればそれなりの活動が可能であることの良い前例となりました。

「ヘキサゴン DBC」は多くの仲間たちの交流を盛んにし、その交流を通して互いにリーダーシップを磨き上げ、素晴らしい事業を開発・実行することが期待されます。そのための実行委員会等が近く組織されることになるでしょう。

## 会計からのお願い

半期分の会費を例会に持参か、振込でお願いいたします。

振込先

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ



炉辺談義も良きかな、村野繁さんを迎えた5月例会

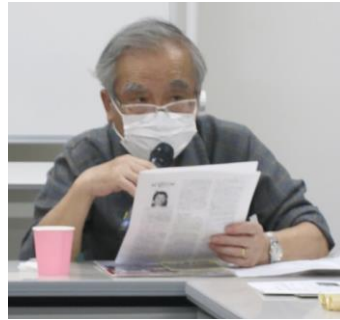
## 新宿の高麗博物館を語る — 5月例会報告 —

一寸した手違いで、例会卓話に穴が空いてしまったため、6月例会卓話は急遽、認定NPO法人高麗博物館の理事・村野繁さん（東京世田谷）にお願いしました。日本海という”一衣帯水“を挟んだ日本とコリア（韓国・朝鮮）の豊かな長い歴史を見える形で表し、相互の歴史文化を学び、相互に理解して友好を深める場を自分たちの手をつくろうと、2001年に創立した博物館です。村野さんは、その準備段階でグループのメンバーの宋富子さんが演じた一人芝居を観て翌年1月から参加したそうです。

博物館の目的には、秀吉の2度にわたる侵略、植民地支配に対する罪責を反省し、歴史の真実に向き合い日本とコリア和解を目指すこと、在日韓国・朝鮮人の生活と権利の確立を願いながら、在日韓国、朝鮮人固有の歴史と文化を偏りなく伝え、民族差別のない共生社会の実現を目指すなどがあり、展示の他に、研究会、講演会、旅行、見学会研究会、学習会など、息の長い活動が行なわれています。

会員は正会員、維持会員、賛助会員などの制度があるそうです。

村野繁さんはクラブのスポンサーの東京目黒クラブのメンバーでした。ご家族は全て絢子さんのブリテンの随筆でおなじみです。卓話というよりも炉辺談義の雰囲気、キッチンコーディネー



新宿の高麗博物館を語る村野繁さん

ターのはなし、BFの年賀切手シートのはなし、などに弾みました。（吉田明弘）

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、高嶋、本川、村野、横山、吉田、<ビジター>村野繁（東京世田谷）

## 三宝寺池で憩う

練馬区に東京都立石神井公園という処がある。小さな公園であるが、三宝寺池と石神井池を中心に雑木林、高い木立がそびえる広場、史跡（石神井城址）などがある。ここは小学生時代に「行軍」という授業で数回訪れたことのある場所である。

此処に 昨年の夏、秋、今年の冬、春と季節の様替わりを見に散歩で訪れた。4月の温かい日此処のベンチに小一時間ほどのんびりと至福の時を過ごした（つくづく年を感じたが）。（神谷幸男）



■大型連休も終了し、ホテル学校も本格的に始動。1年生はベッドメイクをはじめロビーサービスやフロント業務をホテルニューオータニで、レストランサービスについてはホテルメトロポリタンにて基礎を習得すべく、本物のホテルでホテルマンに教わる授業がスタート。毎週伺うホテルでもインバウンドが回復し、ホテル業界は忙しさが増えています。夏には国内旅行の繁忙期を迎えるリゾートホテルでの実習が始まります。今年は82人が参加を希望しています。

■東京一フrostバレーYMCAパートナーシップの夏キャンプのリーダーを全国YMCAから募集し、東京、京都、埼玉の各YMCAから計4人のユースボランティアを派遣します。6月12日に渡米し、約2カ月にわたり現地でキャンプカウンセラーとして活躍する予定です。

■6月16日より、夏季キャンプ・スクールの受付を開始。昨年度よりプログラムを増やし、9つの宿泊キャンプの他、デイキャンプ、水泳、語学、カルチャーなどの各種プログラムを準備しています。今回もフレンドシップファンドを活用し、経済的に困難なご家庭には所得に応じて参加費を援助いたします。

担当主事 横山弥利

## 編集後記

コロナ禍は鎮静化しつつあるようですがまだ油断は禁物です。ウクライナの戦火も相変わらずです。平安な世界になることを待ち望みます。

いろいろな突発事項が発生したため発行が大幅に遅れてしまいましたことをお詫びします。

更に、いつもの6ページ建てでなく、4ページ建てにしたためブリテンの彩が褪せてしまいました。反省しています。原稿を寄せていただいた方々に感謝します。（SK）





マグロの競りは、朝5:00~6:00

## WHOウォーキング6月案内 新たな豊洲市場と東京シーサイド

6月のWHOウォーキングは、2018年に築地から移転した東京都中央卸売市場（豊洲市場）を訪ねます。東京の中央卸売市場は、徳川家康による日本橋魚河岸が始まりと言われますから、関東大

沿岸シーサイドエリアは、  
下町ではなく、新都市空間

震災による、築地移転と合わせて3回目です。衛生面では最新の品質管理方式を採用し、省エネ、環境への配慮など行き届いているようです。扱い商品ごとに区分され「棟」と呼ばれるビルに入り、それが見学通路で結ばれて、ガラス越しに見学するのです。もちろん。“食品市場”は、単に衛生的な売り買いの場ではありません。設備的にはお粗末でしたが、「築地ブランド」として内外に知られ親しまれる世界最大級の水産物市場です。商人たちの作り出す熱気や賑わいがありました。それをこの地で作り出すのには何年かかるのでしょうか。期待を込めて、「ゆりかもめ」で往復し、高架から進化中の東京シーサイドをながめましょう。

期日：2023年6月24日(土)

コース：新橋駅—ゆりかもめ—  
—市場前駅—青果棟—水産卸売市場—飲食物販店

舗—管理施設棟—水産卸売場棟—屋上緑化広場—  
昼食・解散(自由に買い物)  
集合・出発：ゆりかもめ・新橋駅  
出札口 10:00  
参加費：300円。交通費、入場料は各自負担。  
解散：ゆりかもめ・市場前駅近くで14:30頃。

## 7月、8月は夏休み 熱中症に気をつけましょう

WHOウォーキングは7月、8月は夏休みで、9月23日(第4土曜)から再開します。



古代、“焼き畑農法”で開拓した人々が延焼を防ぐために築いた野火止塚をバックに

## —5月WHOウォーキング— もう一度、秋に挑戦したい 古刹平林寺と野火止用水

5月27日(土)、西武池袋線ひばりが丘駅に集合したのは、予想より少数でした。早速路線バスで平林寺へ。平林寺は南北朝時代に現在のさいたま市岩槻に創建された古刹です。徳川時代初期に幕閣として、川越城主として、“知恵伊豆”と謳われた松平伊豆守信綱の大河内家・松平家の菩提寺でしたが、信綱の遺命により、この地に建物、墓石共々移りました。東京ドーム9個分という境内林に囲まれ、臨済禅の専門道場として凍したたはずまいを堅持しています。堂宇を巡り、緑の境内林を歩きました。

地名のゆかりでもある“野火止”塚で折り返し、僧門に戻りました。観光を意識したと寺院と異なり、出入り口が1つだけ。通り抜けが出来ないのです。向かいにあり平林寺の一部となっている睡足軒で茶室と禅庭を見て、たまたま居合わせたお寺の方から、禅

の心得を聞き、次なる目的地、お弁当のスポットを目指しました。ここまで全く順調。しかし5分後に異変が起きました・熱中症状が2人に現れました。付き添いを含めて3つのグループで行動することになりました。幸いなことに本隊は、ほぼ予定通り完歩しました。症状の出た方も間もなく回復し帰宅できました。さまざまな形で協力いただいた方々には感謝いたします。今回の反省点は今後のために共有します。

実は、この会に日頃、野火止用水緑地のゴミ回収のボランティアをやられている埼玉クラブのメンバーのご家族がお仲間と参加されました。昼食の後にでも、一寸お話し願うつもりでしたが果たせませんでした。むしろ土地勘を活かして、分断されたグループの“つなぎ”役を自ら務めて下さいました。ワイズ関係参加は、吉田(東京西)、中澤・藤江(東京たんぼぼ)、樋口(東京グリーン)、関(元石巻広域)、浅羽恵(埼玉) (吉田明弘)